

ブラジル造船関連レポート4

2017年3月

一般社団法人 日本中小型造船工業会
一般財団法人 日本船舶技術研究協会

はじめに

(一社)日本中小型造船工業会では、我が国造船業の振興に資するために、ボートレースの交付金による日本財団の助成金を受けて「造船関連海外情報収集及び海外業務協力」事業を実施しており、その事業の一環として、ジェットロ関係海外事務所を拠点として海外の海事関係の情報収集を実施し、収集した情報の有効活用を図るため各種報告書を作成しております。本書は、昨年度に引き続き、ブラジルの政治経済、海事産業の最近の動向等を取りまとめたものであり、今回で4回目となります。

今般のブラジルの政治情勢は、ご存じのように、ブラジルの産業の核となる国営石油会社ペトロブラス社等を巡る現政権に関係する汚職・闇献金疑惑の捜査が、現在に至るまでも続いており、基本的には停滞と混迷の状態です。経済についても、後退した景気や、それに伴う失業、さらに政治混迷による不十分な経済政策から、実体経済は一向に良くなる兆しはありません。

一方、昨年8月、ドタバタの中でのリオ・オリンピックの開催・閉幕後、国家会計の不正操作等で査問されていた **Dilma Rouseff** 大統領に対する罷免決議が採決され、**Michel Temer** 副大統領が正式に新大統領に就任しました。昨年10月には伯大統領としては11年振りとなる日本公式訪問で安倍首相と会談し、ブラジルが推進する交通及びエネルギー分野におけるインフラ・プロジェクト「投資パートナーシッププログラム (PPI)」への投資協力要請を行うなど、国際信用の回復や新たな海外からの投資獲得に向け積極的に行動しており、国内においては年金改革等で財政規律の健全化を図り構造改革を着実に進めております。

また、ブラジル海事クラスターの大黒柱であるペトロブラス社は、昨年6月に就任した **Parente** 新総裁の下、組織の改編と投資計画の大幅見直しを行い、従前のような大きな新規投資はないものの、効率化・合理化による生産力強化等着実な企業運営を行い、汚職関連で疲弊した企業耐力強化に努めているところです。

ブラジル・ビジネスは、ブラジルの好調期よりも低迷期が勝負と言われてます。この実体経済向上は伴っていないものの若干上向きかけている状況こそが、本質的な意味でのブラジル進出のチャンスかと思えます。今こそ会員の皆様には、お隣中国や一部のヨーロッパの企業のように、本気でブラジルのビジネスを冷静・真剣かつ大胆に考えて頂きたいと思えます。

本書が、少しでも多くの我が国の海事産業関係者の皆様方の、ブラジルの造船・海洋開発市場へのご興味を惹き起こすとともに、これらの皆様方の、新たなビジネスの発掘等に、僅かでもお役に立てることを願ってやみません。

ジェットロ・サンパウロ事務所船舶部
(一般社団法人 日本中小型造船工業会 共同事務所)
ディレクター (船舶部長) 禮田 英一

目 次

第 1 章	ブラジル概況	1
1. 1	政治概況	1
1. 2	経済概況	3
1. 2. 1	各指標の推移グラフ等	4
第 2 章	海事クラスターの動き	23
2. 1	造船所の状況	23
2. 1. 1	造船所就労人口の推移	23
2. 1. 2	発注状況	24
2. 2	荷動きの動向	34
2. 2. 1	貨物の動き	38
2. 2. 2	長距離輸送	40
2. 2. 3	沿岸輸送	41
2. 2. 4	河川輸送	46
2. 2. 5	港湾の扱い貨物	53
2. 2. 6	船舶隻数の推移	59
第 3 章	海洋産業の概況	61
3. 1	鉱区入札の動き	76
3. 2	ペトロbras社の動向	82
3. 2. 1	組織	84
3. 2. 2	投資計画	85
第 4 章	ブラジルの制度と規制	102
4. 1	税制	102
4. 2	輸出入全般に関する制度及び規制	106
4. 3	外資規制	112
4. 4	労働条件および規約	113
4. 5	入札制度	115
資料 1	ブラジル造船工業会 (SINAVAL) 会員リスト	123
資料 2	ブラジル支援船協会 (ABEAM) 会員リスト	129
資料 3	ブラジル船主協会 (SYNDARMA) 会員リスト	141

第 1 章 ブラジル概況

1. 1 政治概況

2016 年度上半期は、政財界を巻き起こんだ汚職問題が深刻化し労働者党（PT 党）のジウマ・ルセフ大統領の弾劾裁判に発展、本来 2018 年までを予定した任期半ばでブラジル民主運動党（PMDB 党）の Temer 新大統領に政権が移行した。前政権は最重要アジェンダとして取り組んできた財政再建、インフレ抑制、経済競争力の強化、インフラ整備、貯蓄の拡大、投資強化、生産性向上、教育の充実、汚職の撲滅などを基本方針としたが、目に見えて実効が上がった様子は見られない。夏に開催されたリオ五輪・パラリンピックによる期待された経済面への刺激も汚職騒動や弾劾運動の喧騒にかき消されさほど奏功せず、Temer 新政権となった後も、依然として財政再建は難航している。

2 月末現在、物価の一服感は出てきているものの、失業率をはじめとする経済指標は目立った回復を見せるには至っておらず、リオデジャネイロ州等の大型消費者圏を抱える複数州で財政破綻状態にあり、依然として庶民の生活は圧迫され、特に、医療、教育、治安面からくる社会不安への国民の反発は大きい。2018 年 10 月には本来予定されている大統領選挙も待っており、現在の膠着した政治経済の状況を打開すべく、Temer 政権がどう舵を取るか真価が試される年となる。

*PPI 制度とは：

昨年 9 月、ブラジル政府が立ち上げたインフラ事業の民営化を図ることを目的に創設した制度で、PPI 制度（投資パートナーシッププログラム/ Programa de Parcerias de Investimentos）と呼ばれており、交通運輸（空港、港湾、鉄道、道路）、エネルギー、上下水道の 3 分野においてインフラへの投資・拡充を行うプロジェクト。

図表－ 1 ブラジル概要

国名	ブラジル連邦共和国 Federative Republic of Brazil
面積	8,515,767.05 平方キロメートル(日本の 22.5 倍、世界 5 位)
人口	2 億 960 万人(世界人口白書 2016:UNFPA 世界5位)
行政区分	26 の州とブラジリア(首都:連邦直轄区)
言語・公用語	ブラジル・ポルトガル語
非識字率	8.0%(地理統計院IBGE2015)
宗教	カトリック約 65%、プロテスタント約 22% 無宗教 8%(ブラジル地理統計院、2010 年)
平均寿命	75.5 歳(男 72 歳、女 79 歳 世界人口白書 2016 年:UNFPA)
人種構成	欧州系 48%、アフリカ系 8%、東洋系 0.6%、混血 43%、 先住民 0.4% (ブラジル地理統計院 2011 年)
政治	
政体	連邦共和国

元首	ミシェル・ミゲル・エリアス・テメル・ルリア大統領 (2016年8月31日就任、1期目途中で交代、2018年末まで)
議会制度	二院制(上院:81議席、任期8年。下院:513議席、任期4年。 4年ごとに3分の1または3分の2を改選。)
主要政党	ブラジル民主運動党(PMDB)、労働党(PT)、 ブラジル社会民主党(PSDB)、民主党(DEM)

■ ブラジルの26州1連邦区

図表－ 2 ブラジルの州と連邦区



資料：機構作成

1. 2 経済概況

現在、ブラジル経済は、リセットを待つ大きな踊り場にいる。
2016年度の主要指標は以下の通り。

GDP (2016年10月)	世界9位
名目GDP (同10月)	1兆7,969億米ドル
一人当たり名目GDP (同上)	8,586米ドル
拡大消費者物価上昇率 (同年12月)	6.29%
失業率 (同12月)	12%
貿易収支 (2016年累計)	476億米ドル
輸出金額 (同上)	1,375億米ドル
輸入金額 (同上)	1.852億米ドル
貿易黒字 (同上)	476億米ドル
外貨準備 (2016年11月月末)	3,655億米ドル
政策金利 (2017年2月)	12.25%
インフレ率 (2016年累計)	6.29%
通貨 (リアル) (2017年1月末)	3,14リアル/1米ドル

ブラジルの2016年度の実質GDP成長率は、3月にブラジル地理統計院 (IBGE) から正式発表される。この5年間の経過を見ると2011年2.7%、2012年0.9%、2013年2.3%、2014年度が0.1%と零水準ギリギリに達し、2015年度は、一般家庭の消費減少に拍車がかかりマイナス3.8%、昨年10月時点における2016年度の市場予想はマイナス3.2~3.3%と考えられており、前年度に比べ若干の上向き幅にはなるが、依然として厳しいレベルにある。

景気が大きく下降し始めた2014年に4.8%に抑えられていた失業率は、2014年第4四半期から上昇し始め2015年に6.8%、それまで見られた中間所得層 (C層) の拡大も、2015年は再度低所得層 (D・E層) が増加する方向に転じ、2016年度は右肩上がりで12%にまで達した。IBGEの調査によると、2016年度最終四半期の失業者総数は1,234万2000人に達し、5年振りの最高失業率となった。

インフレ率は2013年に前年度比5.9%、2014年度6.4%と、2015年には10.67%に上昇、2016年度は下半期に食品価格の安定、10月・11月に向かいインフレ指数の広範囲消費者物価指数 (IPCA) が夫々0.26%、0.18%、年末には2008年以来12月では最低となる0.30%にまで抑えられ、年度としては6.29%にとどまり、高止まり感はあるものの多少改善が窺える数値となっている。

財政赤字については、1月末に、公共部門の基礎的財政収支は国内総生産 (GDP) の2.47%に当たる1556億リアルの赤字をに発表している。

以下、2月現在の各種経済指標を表す図表を取り纏めて掲載する。

1. 2. 1 各指標の推移グラフ等

(出典：在ブラジル日本大使館、JETRO、ブラジル日本商工会議所)

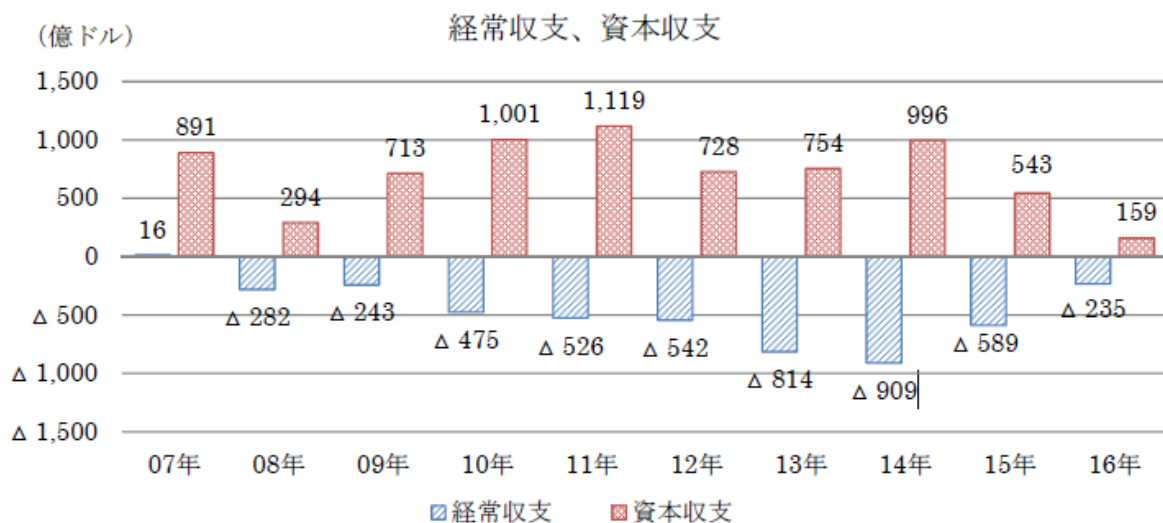
図表－ 3 主要マクロ経済指標

		2012年	2013年	2014年	2015年	2016年 見込み	2017年 予測	備考
GDP成長率(%)		1.9	3.0	0.1	▲3.8	▲3.5	0.5	
名目 GDP	(BRL/10億)	4,806	5,316	5,521	5,904	N.A.	N.A.	
	(USD/10億)	2,459	2,464	2,345	1,769	N.A.	N.A.	
貿易収支(USD/10億)		19.4	2.3	▲4.1	19.7	47.1	47.3	
小売売上動向指数(%)		8.4	4.3	2.2	▲4.3	N.A.	N.A.	
基礎的財政収支(BRL/10億)		105	91	▲33	▲116	▲170	▲139	
株価【BOVESPA】(ポイント)		60,952	51,507	50,007	43,350	60,227	N.A.	2016年確定値
政策金利【Selicレート】(%)		7.25	10.00	11.75	14.25	13.75	9.50	2016年確定値
インフレ率【IPCA】(%)		5.84	5.91	6.41	10.67	6.29	4.43	2016年確定値
為替レート(リアルドル)		2.0516	2.3621	2.6576	3.9608	3.2552	3.30	2016年確定値

出所：ブラジル中央銀行、Focus(2017年2月17日実施)、IBGE、Bloomberg

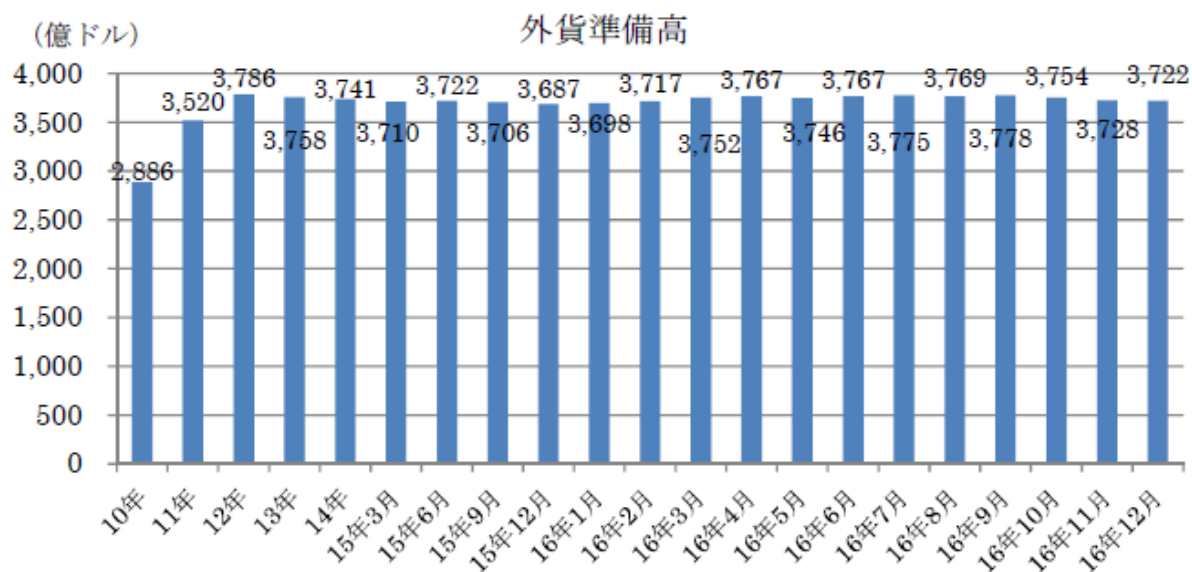
注) 政策金利は、2月22日に12.25%に利下げされた。

図表－ 4 経常収支



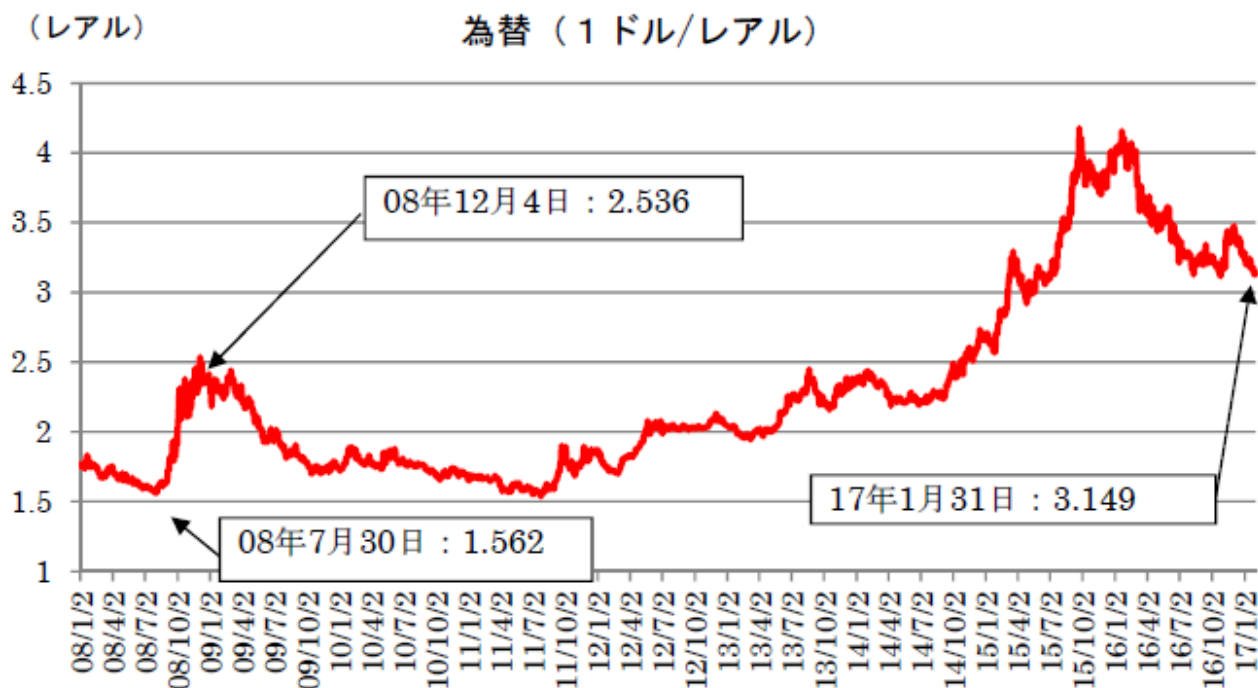
(出典) ブラジル中央銀行

図表－ 5 外貨準備高



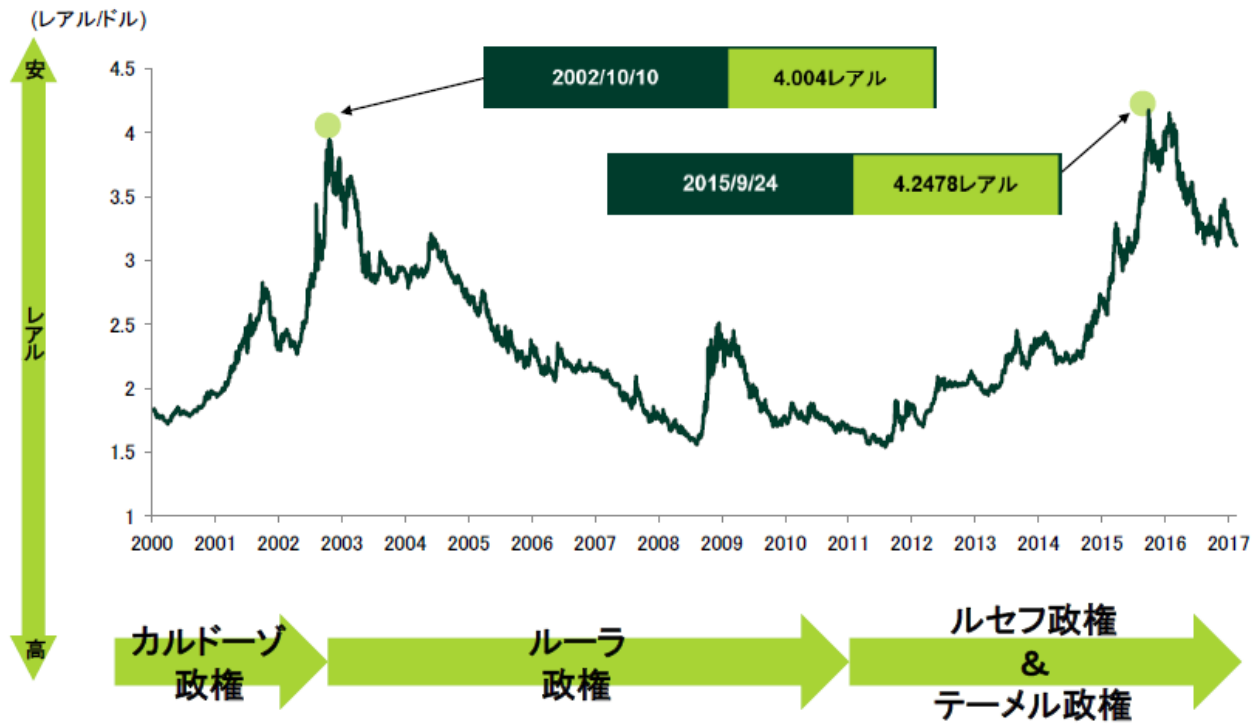
(出所) ブラジル中央銀行

図表－ 6 レアル対ドル為替相場推移



図表－ 7 レアル対ドル為替相場と政権

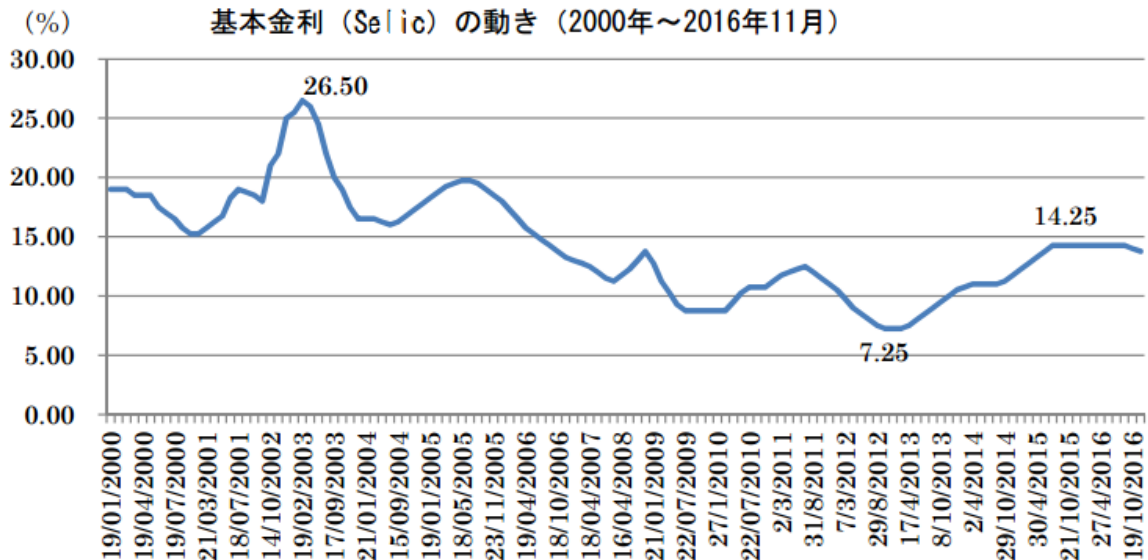
2000年1月から2017年2月17日迄



出所: Bloomberg

図表－ 8 基本金利(SELIC)の推移

基本金利 (Selic) の動き (2000年～2016年11月)

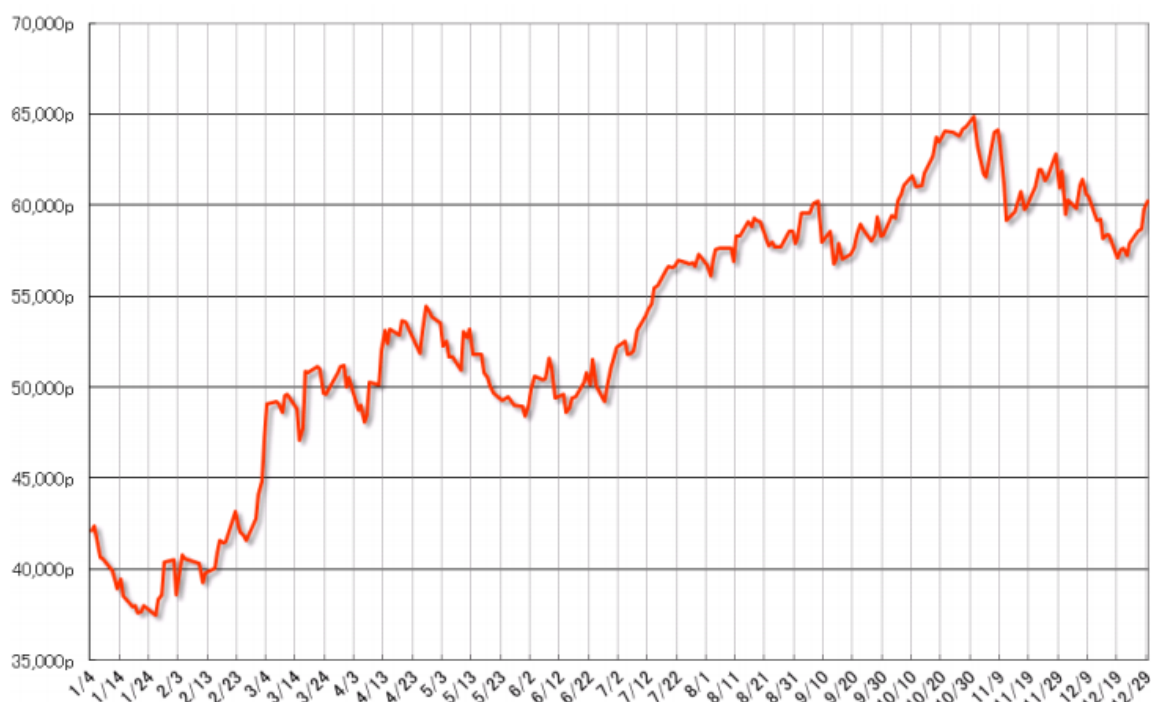


(出所) ブラジル中央銀行

補足：2月22日、12.25%に利下げされた。

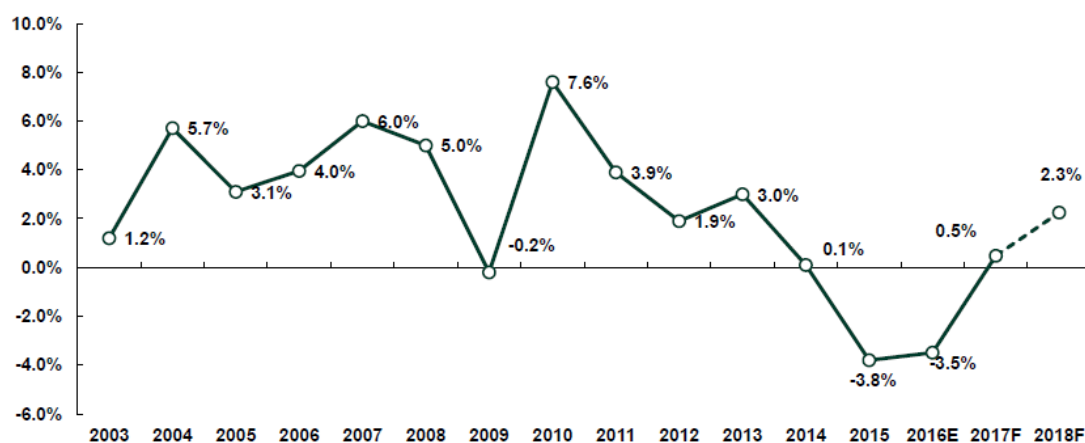
図表－ 9 株式相場の推移（2016年）

2016年の株式相場（Bovespa 指数）の推移



（出所）サンパウロ株式市場

図表－ 10 実質 GDP 成長率と政権（前年比）



出所：各種資料に基づき、ブラジルの三井住友銀行作成